

新しい技術を学び、事業継続に活かしたい。



国府中学校2年生「ワクワク体験学習」のようす。
工具（ハッカー）を使って、鉄筋どうしを針金で結束する体験。



(株)田嶋工業 (鳥取市国府町)
代表取締役 **田嶋 広美さん** (58才)
1級鉄筋技能士

★キャリア形成

(株)田嶋工業の2代目。

鉄筋工の仕事は、工場の中から始まります。まず図面から、使用する鉄筋の種類・数量を読み出し、工場内で鋼材を切断し、曲げ加工をしておきます。次に、できた材料を工事現場に運んで、図面に従って組み上げるのです。組み上げられた鉄筋は、コンクリートの中に埋められて骨格となり、建築物が完成したときには外からは見えません。それだけに、しっかりとした確実な仕事が求められます。

弊社は、清水建設・竹中工務店・熊谷組・戸田建設の鳥取地区災害防止協議会の会長等に就任しており、県外業者との繋がりが強みです。

新しい技術や工法を学ぶため、福岡ドームや関西国際空港、羽田空港増築工事等、県外の大型工事の視察に出向き、最新のBIM、CIMについても勉強しています

2018年12月に完成した鳥取県の公立病院には、4,200トンの鉄筋が使用されており、うち3,200トンは弊社が担当しました。

★建設産業の問題について

リーマンショックの後、急激に仕事が減り、各社取り合いになった時期は、請け負いの現象も起こっていましたが、今は、少しずつ回復していますが、労務費の上昇率と歩掛がリンクしていないため、下請けは苦勞しています。

また、「適切な工期の設定及び施工時期等の平準化」と言われていますが、実態は6月から入札が始まって、一斉に見積書を作成する状況です。運用面で取り組みが進んで欲しいと思います。

★担い手について

弊社は、外国人労働者を4人雇用しています。この業界は、男性主体で女性は働きにくいイメージがありますが、女性も働いています。工場内は機械化が進んでいますので男性も女性も働きやすい環境になっています。

従来、この業界は女性も多く働いていましたが、作業環境の変化により女性を切り離した経緯があります。業界のイメージアップを行うこと、そして女性の雇用を積極的に図り、事業継続に繋げていきたいと思っています。